



つな 繋げよう し げん かい し ゅう 資源回収

あい さい し り つ えい わ ち ゅう がっ こ う ねん て ら も と り お な
愛西市立永和中学校 3年 寺本 莉央奈

永和中学校では、廃棄されるゴミを少しでも減らそうと考え、資源回収を年に2回行っています。この活動は、永和中学校で受け継がれているもので、今年で50年を迎えます。地域の住宅へのビラ配りから資源回収までを自分たちの責任で行うことで、達成感を感じます。私は今年で卒業しますが、資源を提供する側として今後携わりたいです。後輩たちには、資源回収の達成感を味わい、資源回収を受け継いでいってほしいです。



〈資源回収の様子〉

よ 呼びかけよう

たよ ばい し り つ わかい や ま し ゅう がっ こ う ねん まき の あおい
豊橋市立向山小学校 6年 牧野 葵

委員会活動で、使用済み切手を集めることになりました。担当クラスに連絡したり、放送で呼びかけたりしました。使用済み切手が海外で学費として使われていると知り、とてもおどろきました。切手を集める意味を、もっと多くの人に知ってもらい、たくさんの切手を集めたいです。そのためにも、呼びかけを続けていきたいと思います。



〈使用済み切手持ってきたよ〉

ひとり 一人一人にリーダー意識を

おか ざき し り つ は ぎ に し ゅう がっ こ う ねん なか ね さ さら
岡崎市立矢作西小学校 6年 中根 紗更

トレセンを通して、一人一人がリーダー意識をもつと世界が平和になると感じました。自隠しをして階段の上り下り活動では、声をかけ、手を貸し支え合いました。これらの支援方法は、意見を出し合い決めたことです。とてもスムーズに活動が進みました。主体性をもって取り組むことができたからだと思います。矢西小が心地よく笑顔があふれる場所になるように、私がトレセンで学んだことを矢西小のみんなに伝えていきたいです。



〈自隠しをして階段の上り下り活動〉

うん どう とお まな あいさつ運動を通して学んだこと

あん じ ゅう し り つ さくら い ち ゅう がっ こ う ねん やま だ こころ
安城市立桜井中学校 1年 山田 心

私は、朝のあいさつ運動に参加しました。初めは私の挨拶の声が小さかったので、挨拶を返してくれる人も少なかったけれど、元気に挨拶をすると、挨拶を返してくれる人が増えて、とてもうれしくなりました。元気に挨拶をすると、さわやかな気持ちになり、「今日も頑張ろう!」と私も前向きな気持ちになりました。私は自分から話しかけることが苦手ですが、これからは積極的に友達に挨拶できるようにしたいです。



〈朝のあいさつ運動〉

あいち青少年赤十字

No.136 日本赤十字社愛知県支部
〒461-8561 名古屋市東区白樺一丁目50番地
TEL(052) 971-1599 FAX(052) 971-1590
ホームページアドレス https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

一緒に考えよう
～今わたしたちができることを～

ごみひろい大さくせん

とよ た し り つ い わ の あゆ む い わ の るい おお いし おう すけ かど わき むう ま に し の そ う た
豊田市立野見小学校 3年 岩野 歩、岩野 壘、大石 鳳介、門脇 佑真、西園 奏弾

「公園がきたない」というような校内ほうそうがあったので、ごみ拾いをすることにしました。公園に行くと「ぼいすてだめ!」というかんばんがありました。ペットボトルやタバコ、おかしのごみなどがいっぱいすてられていました。ごみ拾いはとてもたいへんでしたが、公園がすっきりして気持ちよくなったので、やってよかったなと思いました。つぎは、ちがう公園もまわって、たくさんの人とぴかぴかにして、町の自然をたもっていきたいです。



〈道路でのごみ拾いの様子〉

たの ぼ きん アートで楽しく募金

な こ や し り つ さくら だい こ う がっ こ う ねん す み とし あき
名古屋市立桜台高等学校 2年 鷺見 俊明

本校 JRC 部は、日頃は花壇整備や夏休みに校外ボランティア等を行っています。文化祭では『募金アート』を行いウクライナ人道危機救援金を集めました。『募金アート』とは、透明な素材で作成した平面型の募金箱で、お金が増えるとアートが完成するものです。楽しみながら募金してもらおうことが狙いで、お金を入れてくださる方の笑顔がとても印象的でした。今後は校内の防災対策に取り組んでみたいと考えています。



〈ウクライナを象徴する花である向日葵をモチーフにしました〉

し 志 賀 市 場 で 社 会 貢 献

な こ や し り つ し が ち ゅう がっ こ う ねん ほ っ た し ゅう と
名古屋市立志賀中学校 3年 堀田 宗穂

志賀中学校では、生徒会主催で夏休みの出校日に「志賀市場」というフリーマーケットのようなイベントを行っています。集まったお金や会場での募金は、日本赤十字社に毎年寄付をしています。今は不要になったものを他の人に再利用してもらえ喜びを味わい、得られたお金(3品一律100円)を募金として寄付することで、中学生でも工夫すれば社会や世界のために役立つ行動ができることを実感しました。



〈「志賀市場」の様子〉

たす 助け合いの募金活動

せ と し り つ こ う はん し ゅう がっ こ う ねん な る み か は
瀬戸市立效範小学校 6年 鳴海 花歩

私たち JRC 委員会は、令和3年7月3日に静岡県熱海市で起きた、豪雨災害の募金活動をしました。募金活動は、令和3年の10月12日から14日までの3日間かけて行いました。この活動には、100人以上の人が協力してくれて、集まった募金の金額は15,717円でした。多くのお金を持ってきて協力してくれるので、募金活動にやりがいを感じ、心がほんわかと温くなりました。



〈1年生も参加してくれた募金活動〉

支部通信

気づき・考え・実行する
青少年赤十字



「いえまですごろく」を使った防災教育

日本赤十字社愛知県支部では、東日本大震災の教訓をふまえ、「自分で考えて行動して自分の命を守り、守った命でほかの人を助ける」そんな人になってほしいという願いを込め、「いえまですごろく」を使った授業を行い、防災教育を進めています。

このゲームは、一人で外にいて地震が発生したとき、安全に家族のもとにたどり着くまでに起こりうるできごとや知っておくべき知識が、ゲームをしながら学べるようになっています。困っている人やけがをしている人を、友達と協力して助けていながらゲームを進めます。このすごろくは、1位で上がることが目的ではありません。ゲームを進める中で、協力することの大切さ、救助の方法、今まで知らなかった災害時の注意点などを、ゲームを楽しみながら学びます。

ゲームのふりかえりでは、ゴールできた人もできなかった人からも、「ゲームは、楽しくできたけど、本当にけがをしたときのことを考えて、けがの手当ての仕方学んでいきたいと思います。」「地震がおきた時のために、ヘルプマークのある場所を知っておくとういことがわかりました。」といった感想が聞かれました。



〈いえまですごろく〉

「いえまですごろく」の他にも防災教育に役立つ「ぼうさいまちがいがし きけんはっけん」(幼稚園・保育所用)や「まもるいのち ひろめるぼうさい」(小学校・中学校・高等学校用)「ちょっと ぼうさい」(ホームページ掲載中)「避難所体験プログラム」があります。地震などの自然災害はいつ起こるかわかりません。いざという時に安全に行動でき、人のために行動することができるように、日ごろから防災について学びを深めていってほしいと思っています。

